

2021年9月3日

日本郵船株式会社が発行する「トランジションボンド」への投資について

株式会社テクノ菱和（代表者名：黒田英彦、以下「当社」という）は、このたび、日本郵船株式会社（以下、「日本郵船」という）が発行するトランジションボンド（日本郵船株式会社第43回無担保社債）以下「本債券」という）への投資を実施しましたので、お知らせします。

「トランジションボンド」とは、企業の温室効果ガス排出削減に向けた長期的な移行（トランジション）戦略に則ったプロジェクトへの投資を用途する債券のことでESG⁽¹⁾投資の対象となります。

トランジションボンドで調達した資金は、下記のプロジェクトに関連する新規支出及び既存支出のリファイナンスへ充当します。

(1) グリーン適格プロジェクト

再生可能エネルギー（洋上風力発電、グリーンターミナル等）、アンモニア燃料船、水素燃料電池搭載船

(2) トランジション適格プロジェクト

LNG燃料船、LNG燃料供給船、LPG燃料船、運航高効率化&最適化

当社は本債券への投資を通じて、国連の持続可能な開発目標（SDGs）⁽²⁾の内、目標9「レジリエントなインフラを整備し、持続可能な産業化を推進するとともに、イノベーションの拡大を図る。」目標13「気候変動とその影響に立ち向かうため、緊急対策を取る。」目標14「海洋と海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する。」の達成に貢献します。

当社は、本債券を始めとしたグリーンボンド・ソーシャルボンド・トランジションボンドへの投資を継続的に実施することで、今後も社会的責任を果たして参ります。

<本債券の概要>

銘柄	日本郵船株式会社第43回無担保社債
年限	5年
発行額	100億円
発行日	2021年7月29日

(1) ESGとは、環境（Environment）、社会（Social）、ガバナンス（Governance）の英語の頭文字を合わせた言葉。「ESG投資」とはこれらの要素を重視・選別して行う投資のこと

(2) 持続可能な開発目標（SDGs）とは、2015年9月の国連持続可能な開発サミットにて採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」が掲げる、加盟各国が2030年までに達成すべき17の目標と169のターゲットのこと



以上